

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	通訳演習 I		( TCH112 )
講義名 (コード)	TCH_通訳演習 I_A		( TCH112A )
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	4
授業担当者	中村 久子	時間数	60
成績評価教員	中村 久子	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	

2. 本授業科目の概要	
到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が異なる母語を持つ他者と誤解なく意思疎通できるために、身近な話題について事実や要点を明確に伝えられるようになる。
全体の内容と概要	N1レベルの聴解力を身につける。試験と同じ形式の問題演習を行いながら、N1レベルの高度な書き言葉や硬い表現を増やしていく。
授業時間外の学修	適宜宿題を出す。
履修上の注意事項等	出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	2/3以上の出席		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	音の特徴や変化が聞き分けられる。	必修パターン聴解 N1 PART1 unit1-2 TRY!N1文法
2	語尾やイントネーションから推測する力を身につける。	必修パターン聴解 N1 PART1 unit3-4 TRY!N1文法
3		演習問題
4	省略された言葉を推測しながら聞き取ることができる。	必修パターン聴解 N1 PART1 unit5-6 TRY!N1文法
5	会話の流れをつかむことができる。	必修パターン聴解 N1 PART1 unit7 TRY!N1文法
6	聴解を聞き取るための基礎力を復習する。	必修パターン聴解 N1 PART1 unit1-7 TRY!N1文法
7	会話の流れを読む力を身につける。	必修パターン聴解 N1 PART2 unit1 TRY!N1文法
8	会話の流れを読む力を身につける。	必修パターン聴解 N1 PART2 unit1 TRY!N1文法
9	会話の流れを読む力を身につける。	必修パターン聴解 N1 PART2 unit1 TRY!N1文法
10		JLPT模試
11		JLPT模試 7/2JLPT
12	会話の中に答えがなくても推測する力を身につける。	必修パターン聴解 N1 PART2 unit2 TRY!N1文法
13	会話の中に答えがなくても推測する力を身につける。	必修パターン聴解 N1 PART2 unit2 TRY!N1文法
14		期末試験
15		期末試験の解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	必修パターンN1聴解 TRY!N1文法
参考文献・資料等	適宜配布
備考	クラスの状況に応じて進度は変わります。